

編集委員	大槻 健郎, 刈部 博, 川村 昌司, 佐藤 博俊, 佐野 博高,
	田島 悠太, 山科 順裕, 山本 譲司, 板橋 智也, 岸本由加里,
	草野 貴史, 坂元健太郎, 武内 洸弥, 堀内 論, 若月 悠
査読委員	遠藤 薫, 近田 祐介, 渋谷 里絵, 鈴木 範明, 寺澤 孝幸,
	八田 益充, 福田かおり, 藤原 幾磨, 山本 多恵

編集後記

仙台市立病院医学雑誌第42巻をお届けいたします。本巻では原著5編、症例報告8編の計13編を掲載することができました。一昨年から続くコロナ禍で、日常診療業務がこれまでになく多忙化・複雑化しているにもかかわらず、今年度は昨年度よりも掲載編数が増加しました。COVID-19診療に関するタイムリーな原著2編のほか、あっと驚くような症例報告など、いずれも力作揃いで、専門診療科以外の先生にも興味をもっていただける内容です。本誌を刊行できる環境を提供していただいた皆様に感謝いたしますとともに、学術活動をたゆまず続けておられる先生方にあらためて敬意を表したいと存じます。

近年、学術分野での著述活動は、以前にも増して様々な面でのハードルが課されるようになっていきます。だいたい前から学会発表等でも Conflict of interest（利益相反）の開示が求められるようになったのはご存知の方も多いと思います。臨床研究・論文執筆ともなれば、ヘルシンキ宣言をはじめとした医療・研究倫理の遵守、大学などで開催される倫理講習会の受講証明書の取得、インフォームドコンセントの取得、オプトアウトの機会の提供、院内倫理委員会への申請・承認、などなど。多くは以前から当然のごとく行われていたものや、研究者の良心に委ねられていたものですが、手続きとしてそれらの証拠を提出しなければならない煩雑さは以前とは比べ物になりません。本誌も世界標準に後れをとらないよう、毎年のように論文投稿規定を改正しています。

今号では前号よりも研修医の先生方の投稿が増えました。研修医の先生方には、本誌への投稿を通じて、近い将来経験する博士号研究・論文作成の腕を磨いていただきたいと思います。

(刈部 博)

仙台市立病院医学雑誌

Vol. 42 2022

令和5年1月31日 発行

発行所 仙 台 市 立 病 院

仙台市太白区あすと長町 1-1-1

TEL 022 (308) 7111

発行者 亀 山 元 信

笹氣出版印刷株式会社 組版